



おがさわら

議会だより

第 152 号



(母島)



(父島)

目次

議案審議・委員会報告……………	2
一般質問……………	3~6
議員レポート・小笠原村議会決議…	7
編集後記……………	8

成人が 18 歳になったので「二十歳を祝う会」が催されました。
 島に久々に帰って来た子供達の成長も見られ、小さい時から見守ってきたこともあり、目もウルツとなる方もいました。島が賑やかかとても華やかさに包まれました。
 20 歳になり将来小笠原を支えていただければありがたいですネ！
 安藤重行

令和5年第4回定例会においてこんなことが決まりました！

開催日 12月13日、14日

- 専決処分事項報告及び承認について1件
※小笠原村民みんなのクーポン券について承認しました。
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例ほか条例改正6件
- 令和5年度一般会計補正予算他補正予算6件
- 指定管理者の指定について3件 ○ 金融機関の指定2件
- 新たに生じた土地の確認について ○ 権利の放棄について 他

今月29日が
利用期限です。
皆さん利用し
ましょう！



総務委員会 12月14日

片股敬昌 委員長 平野悠介 副委員長

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、小笠原村愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（ペット条例審議会の答申等）、平島ネズミ対策等について報告、質疑がありました。

【問】ネズミ対策で投下した紙パック（殺鼠剤）のロープは回収するのか。自然には影響ないのか。

（安藤）

【問】ペット条例審議会答申にあるドッグランの整備について（平野）

住宅政策

東京都小笠原住宅の整備、住宅モデル事業、9月総務委員会からの要求事項について報告、質疑がありました。

【問】母島静沢分譲地の検討状況は（宮城）

硫黄島調査特別委員会 12月14日

杉田一男 委員長 安藤重行 副委員長

令和5年9月の委員会以降の硫黄島に関する動きについて報告がありました。

遺骨収集帰還事業について

第2回目：9月27日～10月11日実施 収容柱数22柱
第3回目：11月21日～12月5日 中止

【問】滑走路下の調査についての現状は（安藤）

訓練について

HRS訓練、潜水訓練、LCAC（エアークッション艇）訓練、米海兵隊による訓練について

その他

- ・硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業（年6回）
第3回：10月12日～17日
第4回：11月17日～23日
- ・硫黄島及び北硫黄島旧島民の墓参（東京都主催）
10月17日～18日 旧島民38名参加
- ・日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式（硫黄島協会）
3月30日予定
- ・硫黄島戦没者追悼式（東京都主催）1月18日予定
- ・硫黄島慰霊巡拝事業（厚生労働省主催）
第2回次慰霊巡拝 3月6日 実施予定
- ・硫黄島重機の管理についての報告（総務課長）

小笠原航空路開設推進特別委員会 12月14日 稲垣勇 委員長 平野悠介 副委員長

令和5年9月の委員会以降に航空路開設推進に関する動きについて村長の陳情活動、来島者の視察等の報告がありました。

【一般質問通告一覧】

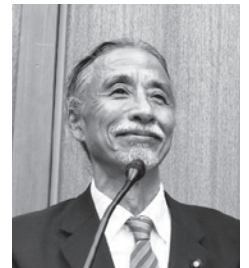
- 小笠原村の防災政策について(清水良一)
- 島の防災全般について(平野悠介)
- 戦跡資料の保存と展示、島のゴミ分別の展望について(宮城ジャイアン)
- 地域防災力の充実強化について(安藤重行)
- 商工会について(杉田一男)
- 母島支所での郵便事業の進捗状況について(稲垣勇)
- 戦争と平和について考える(片股敬昌)



南海トラフ巨大地震に備える



村長...備蓄は1週間分。
被災状況を想定した
準備が重要。



清水 良一

問 最新の被害想定と避難者数、宿泊を伴う避難受入れ人数は？

答 父島全壊187棟半壊105棟死者6名、母島全壊44棟半壊13棟死者3名、同地震による避難者数最大で父島1550人母島で265人合計1815人、宿泊を伴う避難所受け入れ人数は父島母島併せて1500人程度。感染症対策も考慮。

問 発電所やおがさわら丸が被災すればサバイバルな長期の孤立化が想定される、自助共助の強化地域コミュニティ活性化のためにも防災キャンプという体験型防災訓練を取り入れてみては？

答 自助のための知恵や技術の学びや、地域でやることの共助については歓迎する。当村において避難所体験訓練等のように行えるかは検討していく。

問 防災と地球温暖化対策、双方に有効な機材として平時にも使えるソーラーパネル付きポータブル電源の導入促進を考えてみては？

答 自助の部分で村民の皆さんが備えていただくことは歓迎、村が直接支援できるメニューの考えは現在のところない。

おがさわら丸機関トラブル、村の対応は



平野 悠介

村長...国や都、航路事業者と連携を図り、対応策の構築に向けた努力を進める



問 台風、豪雨、火山性津波の危険が相次いだ。防災に関する気象庁への要望状況は。

答 気象レーダーの設置を以前から要望。津波災害に対して観測機器設置を求める意見書を提出。本年11月には東京島嶼町村会、町村議会議長会連盟で要望書を提出。東京都も緊急要望。

問 消防団の定員割れに対する団員確保は。また、新しい普通免許では消防車両の運転ができない。準中型免許の取得支援は。

答 村民日より12月号の募集告知で入団検討の判断材料を多く掲載。準中型免許を所有する団員確保のため、免許取得、限定解除の費用助成を検討中。

問 家庭での備蓄について、ローリングストックという形態もあるが、取り入れて広報しては。

答 一週間分の備蓄については、「買い置き習慣」という形でお願している。今後も工夫をしながら効果的なお願いを目指していく。

問 おがさわら丸の機関トラブルは、一隻に依存するライフラインの脆弱性が明らかになった。村の対応は。

答 都知事に意見交換の場で報告。国や都などの行政機関、航路事業者とも連携を図り、対応策の構築に向けた努力を進める。

戦跡資料の保存と展示/島のゴミ分別の展望は？



宮城 ジャイアン

教育長...本村の成り立ちに関わる資料は重要と認識。
環境課長...プラごみは資源化へ。



問 父島・母島には平和記念館等がなく、戦跡資料の保存や展示がほぼない。島の歴史を学ぶのに不可欠だが、作る予定は？

答 重要だが、施設更新の建築が続くので近年は難しい。予定はない。

問 戦争資料を個人で保管の場合があるが、高齢化で時間的猶予がないが？

答 個別に相談をお願いしたい。

問 内地のゴミ処理業者を訪問済み。島もプラごみを焼却ではなく、資源化して拠点回収から始めてみては？ペットボトルのラベルも剥がしては資源化はどうか？

答 今は未広報で環境課前で試験回収している。今後はラベル剥がしも含め、段階的に村全体でプラ資源回収に取り組んでいきたい。

問 父島の生ゴミ回収の問題は？プラ資源化と同時に意味がある。外部委託、拠点回収などは？

答 現在は一割を農家ボランティア回収で肥料にしている。コンポストや家庭でできる工夫の啓発、母島式も検討していく。

問 段ボールも資源として搬出しているが、雨で濡れると焼却になる。知らない人が多いので、もっと啓発しては？

答 村民にリサイクルに対する意識が浸透するよう、啓発、広報していく。

地域防災力の充実強化と自治組織の確立は？



村長...地域防災力は消防団、職員一丸で強化。
総務課長...自治組織は村民の自主性で設立を望む。



安藤 重行

問 消防団を中心とした地域防災力強化のための処遇改善・入団促進・新たな取り組みは？

答 消防団員は定員90名。現在50名で実質1名減。団員補充は重要な課題。処遇改善は12月号の村民だよりで掲載し入団促進を図っている。女性団員確保は約10%目標は達している。機能別分団員は、定年制を設けていないので導入の考えはない。児童・学生への消防活動の啓蒙のための少年消防クラブ等の設置は非常勤消防団では困難。小中学生の防災教育、訓練は要望があれば可能な限り協力。高校生は防災訓練時に避難所運営の補助として村職員と共に参加している。消防車両やドローン運転など資・機材を運用するための資格を今後取得する人については必要に応じて対応。

問 地域防災のもう一つの要。自主防災組織（自治会）の活性化のため、自治会を作るべきでは？

答 普段から助け合いの習慣がある地域の自治会があれば、地域毎の防災意識の徹底等の避難などに役に立つ。自治会で防災リーダーや自治会組織の育成は住民が自発的に設立しなければ、目指す機能を十分に発揮できなく継続的活動が難しいと考えている。

商工会について

村長...村の商工振興を図る上で必要な組織。
商工会事務局体制については定期的に確認する。



杉田 一男

問 商工会事務局運営について今まで3人体制で維持されてきたが現在1名しかいない。今後の対応は。

答 上部団体の商工会連合会へ年明けの人材派遣を要請していると報告を受けている。

問 私が商工会連合会に確認したところ、本部でも人材不足であり、要請をすべて受け入れることは難しいと聞いている。新たな職員確保についても話は聞いてはいるが現状の人材不足状態が続く中ではとても会の正常運営は見込めないと感じる。補助金交付している村としてこの状況をどうとらえ、考えているのか。

答 商工会からは人材不足ではあるが会員に心配のない体制づくりをしていると報告を受けている。また、相談を受ければ協力していく。



母島支所での郵便事業の進捗状況について



村長...直営局設置に向け要望続ける。



稲垣 勇

問 母島支所が簡易郵便局を受託した令和3年4月以降、不自由なく利用させていただいている。支所としての業務と簡易郵便局事業とは分離して行うのが望ましいと考えられている。日本郵便直営局の設置には相当高いハードルがあるが、設置実現に向けて要望していく答弁をしているが、その後の進捗状況を伺う。

答 昨年6月定例会終了後、12月までに4回、本年に入って3回議長と共に先方の社長、役員と交渉したが採算性、将来の成長戦略を度外視した新規直営の設置はハードルが高く、今はいつまでに設置できるという話には至っていない。簡易郵便局事業の職員の休暇が取得できない状況にあった件については交渉の結果、今年8月に休暇取得約20日間、日本郵便職員からの派遣があり、休暇取得が出来た。

問 受託契約が来年3月で更新を迎えるが、支所での事業を更新しない旨、申し入れてはどうか。

答 受託契約を更新せず解除する場合、90日前に申し入れることとされている。引き続き直営局の設置に向けて、議会と協力して要望活動をしていく。

戦争と平和について考える



教育長...平和の大切さを理解し、維持する小笠原学習に取り組んでいる。



片股 敬昌

問 戦争はいけないという理想を語るだけでなく、戦争を起こさないためにどのようにするべきなのか、という教育が大切。

答 国際政治などは大きな流れを学ぶが掘り下げた教育はしていない。

問 憲法前文には「平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼してわれらの安全と生存を保持しようと決意した」とあるが戦うこととは悪なのか、いけないことなのか。

答 先の大戦の教訓を踏まえ、恒久平和を願う憲法を制定したが第9条に謳われている「戦争の放棄」は自衛のための戦争は放棄されていないと解釈されているし、自衛隊法もある。

問 戦争を起こさないための教育について。

答 平和を維持する教育と捉え児童・生徒が良好な人間関係の中、お互いに意見を出し合い、硫黄島洋上慰霊祭をはじめとする平和の大切さを理解し維持する小笠原学習に取り組んでいる。

問 おが校生未来の夢応援プロジェクトについて。

答 今年度から実施した応援プロジェクトにより、高校生が夢を持ち、追い求めることはその後の人生を豊かにし、成長を促す。充実した人生を築く手助けをしていく。

滋賀、新人議員研修レポート

迷わず行けよ、行けばわかるさ！

宮城 ジャイアン



100人の新人議員の研修風景

今年の11月、滋賀県にあるJIAM全国市町村国際文化研究所にて全国から約100人の新人議員が抽選で選ばれ、みんなで研修するという機会に恵まれました。琵琶湖のすぐそばで、3日間の宿泊で新人議員としての学びをしてきました。

議会の仕組みやルール、沢山の事例など新人議員としてとても大きな学びとなりました。そして、出逢った同期の議員仲間はかけがえのないご縁となりました。多様な世代に性別も違ったりしますが、お互いが同じ時代のタイミングで議員になった仲間です。土地やイデオロギーは違えど、その土地を良くしようと活躍する議員であることには変わりありません。他地域の話聞いて、色んな事が小笠原に反映できると確信しました。



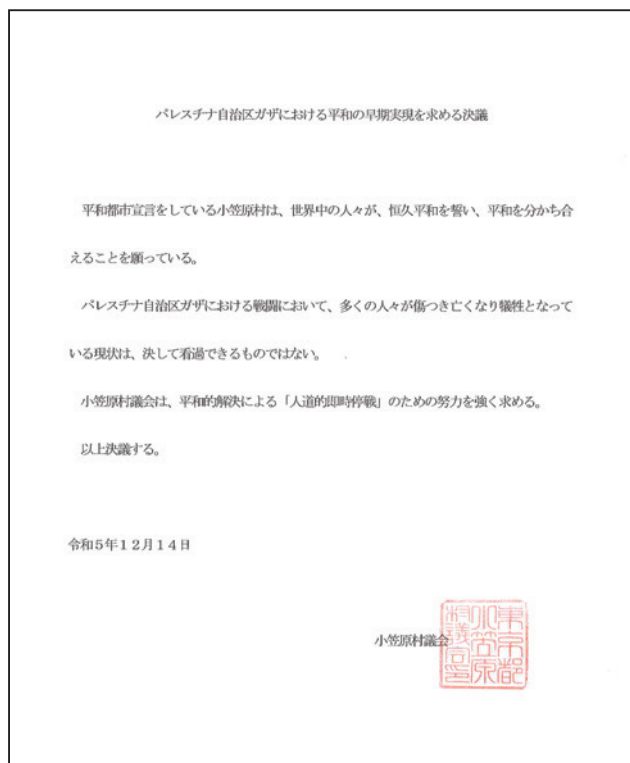
グループワークの素敵な議員メンバー

そして客観的に小笠原村議会を見てみて、高齢化や女性議員がいない事など課題はもちろんありますが、小規模であること、Youtube配信にアーカイブ化、議会報告会の実施、会派がない事、執行部と議会の両輪の関係など、良い部分も沢山見えてきました。

この研修での学びとご縁を今後の活動に活かしていきます！

パレスチナ自治区ガザにおける平和の早期実現を求める決議

令和5年12月14日、小笠原村議会は、パレスチナ自治区ガザにおける戦闘において、平和的対話による解決、人道的見地による即時停戦を求める「パレスチナ自治区ガザにおける平和の早期実現を求める決議」をいたしました。



議長出張報告



出張日	出張用務
10/5	令和5年度市区町村長及び市町村議会議長総務大臣表彰式
10/11	東京都行政部長訪問・意見交換（議員5名）
10/12	硫黄島戦没者及び旧ソ連抑留中死亡者遺骨引渡式及び遺骨収集団解団式参列
10/13	東京都議会各会派訪問・意見交換（全議員）
10/16~17	山梨県南アルプス市行政視察（全議員）
10/26~27	硫黄島基地隊開隊55周年記念式典出席
11/7	島しょ町村議会議長会第2回臨時総会出席
11/8~9	都町村議会議長会視察（島根県琴浦町）出席
11/10	島嶼一部事務組合臨時総会出席
11/13	全国市議会議長会基地協議会関東部会総会出席
11/14	日本郵政、小笠原海運訪問
11/15	竹谷とし子参議院議員、塩田博昭参議院議員、朝日健太郎参議院議員訪問
11/18	アイランダー2023、TOKYO収穫祭2023へ出席
11/28	第41回離島振興市町村議会議長全国大会出席
11/29	第67回全国町村議会議長会全国大会出席

令和6年第1回定例会会議日程表（予定）

月日	開始時間	会議名	内容
3月13日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
3月14日（木）	午前9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後3時	本会議	議案審議
3月18日（月）	午前9時	予算特別委員会	
3月19日（火）	午後2時	予算特別委員会	
	午後4時	本会議	議案審議

現時点での会議予定です。

会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。

● 映像の配信について

定例会当日は、TV 11チャンネルで中継放送、Youtube でライブ配信を行います。
過去の議会録画中継は、アーカイブ配信しています。

【小笠原村公式チャンネル】

URL：<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>



会議での発言内容など詳しく知りたい時は、**会議録**をご覧ください。

○村役場議会事務局、地域福祉センター図書室

○母島支所、母島図書室で閲覧できます。

また、パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト → 議会事務局 → 会議録で



編集後記

コロナ5類後、初めてのお正月を迎えた。おがさわら丸の乗客も700人を超えコロナ前の賑わいが少しずつ戻ってきているようだ。元日には一般島民も参加できる「二十歳を祝う会」が開催され、一人一人の心温まる素敵なスピーチを聞いた。小笠原の外に出て改めてふるさとの良さを知ることのできる2年間は大人になるためのとても大切な時間だと思う。

そんな平和な小笠原だが元日に起きた能登の地震、2日に起きた羽田での事故、ガザやウクライナでの戦争と何が起きるかわからない時代ではある。12月の議会では3人の議員が防災について質問をした。また、村議会として「パレスチナ自治区ガザにおける平和の早期実現を求める決議」も行った。被災され亡くなった方のご冥福を祈るとともに、平時に何ができるか改めて考え、災害に強いコミュニティを作り、平和を発信し続ける議会でありたい。

清水 良一

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp